

大分東週報



国際ロータリー第2720地区
大分東ロータリークラブ



R.I.テーマ
「世界に希望を生み出そう」
大分東RCスローガン
「Come together」



画「大分駅のイルミネーション デジ絵その2」前田 修二

2023-2024 第23回 例会 2024.2.1 No.2808

ガバナー 膳所 和彦
会長 前田 修二
幹事 佐藤 純也

本日のプログラム（2月1日）

会 食

◎12:30

1. 開会並びに点鐘 前田 修二 会長
2. 国歌並びにロータリーソング斉唱「奉仕の理想」
3. ゲスト・ビジターの紹介 前田 修二 会長
4. 会長の時間 前田 修二 会長
5. 幹事報告 佐藤 純也 幹事
6. 出席報告 瀬口 清文 出席委員長
7. 委員会報告
8. ニコボックス 有吉 吾一 親睦委員長
9. 今週のお祝い

<創立記念日>

池田 雄会員 (株)大分銀行 2月1日
佐藤 宝恵会員 ニッコン(株) 2月1日

<在籍記念日>

織部 和宏会員 1月24日(32年)
角山 光邦会員 1月23日(31年)

<出席>

佐藤 佳郁会員 1月6日(13年)(100%)

<パートナー誕生日>

柳原 達也会員 由美夫人 2月2日

◎13:00

10. 例会企画

池邊 強会員の卓話

第22回（1月25日）例会記録

夜の例会「うお清」

・出席報告

会員 総数 32名 (免除 会員 9名)	1月25日(先週)				12月21日 出席率 (修正)
	出席会員数	出席率	ゲスト	ビジター	
	21名	84.62%	0名	16名 (サインのみ受付)	93%

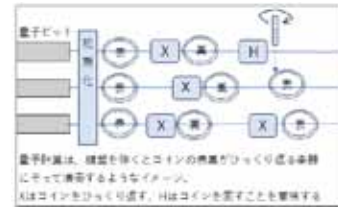
次回の例会（第24回2月8日）

ゲスト卓話 三笥博幸様 (NTT西日本大分支部長)
「ここが変だよNTT! (笑)」

現在のコンピュータは、スーパーコンピュータでさえ、0と1の組合せで動いているというのは皆さんご存じの通りです。そして、これをより高速にするために、これまではスイッチの役割を果たすトランジスタを半導体技術で大規模に集約してきましたが、この方式もそろそろ限界であり、その次に来るのが量子コンピュータであると言われていました。でもこの量子コンピュータの原理がネット情報みてもなかなか理解できなかったのですが、たまたま図書館で発見した本に少し分かり易く書いていたので、今日はこの量子コンピュータはどうやって動くのか、量子の特性について私の理解した範囲でご紹介します。まずは基本として量子には「重ね合わせ」と「量子もつれ」という性質があります。「重ね合わせ」は量子が「粒」と「波」のどちらにもなれる性質、「量子もつれ」は複数の量子の動きを連動させることのできる性質です。そもそも「量子」とは、ある物質のこれ以上小さくできない状態が分子で、その分子は原子で構成されていて、原子の中には電子や原子核があり、さらに原子核は陽子と中性子で構成されています。この原子や電子、陽子、中性子などは全て量子です。光の光子も量子になりますので、どの量子を使うかによって、量子コンピュータの方式が違っており、現在量子によって5つの方式があると言われていました。

量子コンピュータの計算は、楽器の演奏に例えたイメージでいうと、ピアノの鍵盤(量子ビット)が縦に並んでいて、鍵盤の動きと連動したコインが鍵盤に紐づくピアノ線上にあり、鍵盤を弾くたびに表裏がひっくり返ったり、表でも裏

でもない「コインを立てて回した状態(量子もつれ)」になったりします。この「量子もつれ」の結果で他の鍵盤のコインを制御できるので、計算を大幅に効率化できるらしいのです。まだ研究開発段階で課題は多く、鍵盤を単純に増やすだけではエラー、つまり計算間違いが起こりやすいらしく、どう制御すれば最適なものが開発の鍵になっているようです。とはいえ、量子コンピュータの場合は高速で大量の計算が可能なのは理論上分かっており、特に科学計算や暗号化などを得意としています。将来的に、従来型のコンピュータが量子コンピュータに取って代わるというのではなく、ハイブリッドでお互いのいいところを補完しながら活用するようになるらしいです。2023年3月に理化学研究所(理研)が国内の研究機関や企業と共同開発した日本初号機が稼働し、注目を浴びております。いずれ皆さんのスマホのアプリもクラウド上で量子コンピュータと連携するようになるかもしれません。(自分が十分理解できていないので、人に説明するのはやはり難しいです)



参考：先読み>IT×ビジネス講座 量子コンピュータ
湊 雄一郎+酒井麻里子 (インプレス)

幹事報告

1. 先日行われました、新春合同例会の決算書が届きましたので回覧いたします。
2. IA年次大会の報告書が届きましたので回覧いたします。
3. 2月の出欠回覧をいたしますので記入をお願いいたします。
4. 本日 城西RCの地区補助金プロジェクトのパンフを皆様に配布しております、後ほどご案内がございますので宜しくお願いいたします。

委員会報告

R財団委員会

ポールハリスフェロー1回目の表彰 瀬口 清文会員

第8回 理事会議事録

理事出席者：前田・佐藤(純)・由見・菅・瀬口・有吉・木暮・松本・原野・佐藤(佳)・川崎・大西・森
(欠席)原野・那賀

1. 2月のプログラム確認
2/1 (木) 池邊会員の卓話
2/8 (木) 三苫博幸様 (NTT西日本大分支店長 大分RC所属)
2/29 (木) 創立61周年記念例会(夜の例会) 林ちゃん送別会
3月のプログラム(承認)
3/7 (木) 池田雄会員の卓話
3/14 (木) 未定(管会員に依頼中)
2. 米山奨学生 林さんへの送別記念品について・・・2/29日に渡す
予算は10,000～15,000円程度でカウンセラーに願います。
3. 運営委員会より・・・佐藤佳郁会員より
ロータリー事務局会計の繰越金の取り扱いについて、大分中央RCより提案があったが当クラブとしては、現状では今まで通りの残高が必要と思われる為に提案内容には応じかねる。
3. 能登半島地震への義援金について
60周年の積立金の繰越額727,885円をニコボックスに繰り入れたので、その中より150,000円を義援金として送付する。

- 佐藤憲幸会員（大分城西RC）（2口）
2月25日に「日本の文化と職業体験」としてのイベントを開催いたします。
是非、子どもさん！お孫さんにご参加ください。

特 報 版

- 2月のプログラム
2月 1日（木） 池邊強会員の卓話
2月 8日（木） ゲスト卓話 三笠博幸様（NTT西日本大分支店長）
2月15・22日（木） 休会
2月29日（木） 創立61周年記念例会 林ちゃん送別会
「大分センチュリーホテル」 18：30～

卓話の時間（1月18日）

「年男の卓話」

安藤 暢啓会員

本日は年男の卓話をという事で、松本プログラム委員長からご指名を受けました。

皆さんに参考になるような話は出来ませんが、会社と私の歩みという内容で話をさせていただきます。

今年が5回目の年男になります。
個人的にはうれしさはありませんが、こればかりはしょうがないなあと思っているところです。

本日ですが、私が昭和39年生まれで会社も昭和40年創立という事でほぼほぼ同年代を過ごしてきたという事になりますので、両方の歩みの中を切り取りながらお話しできるところをしていきたいと思います。
宜しくお願い致します。

会社ですが、私が生まれた1年後に当社は大分市田室町（現在は西大道）という場所に倉庫を建設して営業を始めました。
60年ほど前はまだ田んぼなどが多かったと聞いています。

なぜその地域を選んだのかというのは、その当時より
①西大分駅が貨車の基地になっていた。
②フェリーの発着場が西大分港にあり。
③大道地区には問屋さんも多く店を構えていたなどが理由の様です。

当社は商号変更をしながら現在に至っておりますので、当社では営業倉庫の許可を当時の運輸省からいただいた昭和40年10月16日を創立記念日として毎年その日に永年勤続表彰や安全表彰等を行っています。

当社が当初田室町に田室倉庫を建設しました。
需要があったのか4年後には大分市新川町に臨港倉庫を建設しています。

更に5年後には大分市豊海に本社事務所と本社倉庫を建設しています。

更に3年後には大分市新川町の臨港倉庫西側に3階建ての低層倉庫を建設し、更に3年後に杵築に倉庫を建設しています。

平成元年には倉庫を始めた田室町も宅地化が進んできたので、第五大成ビルという賃貸ビルを建設、その後は平成4年に大在物流センターを建設して、更に本社倉庫も古いのでという事で建て替えを行ったようです。

会社創立から約30年間、ハードな建設を凄い勢いで行ってきました。

次は私の社会人生活からお話ししたいと思います。

私は大学卒業後の昭和62年4月より東京で証券会社へ入社致しました。
就職活動中も友人から証券会社は大変やろう。
違う所の方がいいのではなかという事をよく言われました。

多少何かあっても大丈夫だろうと思っていましたが、入社するとやはり大変ではありました。

証券会社への就職も学生時代にある方へ相談したところ、野村證券などの大手に行くか、銀行系の証券会社へ行ってはどうかとのアドバイスを受けました。
私には野村證券などの大手には無理だろうと思い、銀行系証券会社を目指しました。

最終的に決まったのは三菱銀行系の証券会社でした。

研修期間中にも今は銀行と証券の垣根があるが、そう遠からず内に垣根がなくなるんだという事をしきりに言っていました。

そして銀行と証券が横並びで営業できる日が来るんだと言っていました。

まさに現在の状況が当時言われていたことなのかと思っています。
そのような話を聞かされて、頑張るんだと鼓舞されていました。

私が配属されたのは府中支店でした。
新入社員の私は、毎日朝7時に店舗に行き、当日の注文を端末に打ち込み。

その後朝礼が終われば、かばんを持って終日飛び込み営業が一年間続きました。

店舗に戻ってからは、夜は9時位まで投信販売。
若いので耐えられたのだと思いますが、今はその当時の生活はしたくありません。

しかし当時の支店長や上司から色々怒られることも多かったですが、社会人としての基本を教えてもらったとも思っています。

教育・指導を受けたことは感謝しています。

証券会社勤務で感じたのは、数うちや当たるとい言葉がありますが訪問件が増えれば契約も増えるし、訪問件数が少ないと契約も減る傾向にあるという事でした。

頑張った分は成果が出るということに気づきました。

平成2年には結婚することになり、証券会社を退職することになりました。

そうなる当初から思っていたいつまでもこの業界にいるわけにもいかないと、父にいずれ会社へ入るのであればどこか倉庫会社を紹介してほしいというお願いをしました。

そして決まったのが押入れ産業という、トランクルーム事業で全国をフランチャイズで行っている会社でした。

関西希望を申し出て、入社してから関西の生活が始まりました。

住所は西宮市になりとても良い所でした。

押入れ産業ではトランクルーム事業を行っているのですが、当時大成倉庫では行っていない事業の勉強をするんだと思っていました。

トランクルームの事も数年間で色々勉強してもらいましたが、そこでは押入れ産業に加盟している倉庫会社の私と同じような環境の人の多くのお会いがありました。

特に気の合う仲間10名ぐらいいは、時間を見つけては酒を飲み、ゴルフをし、各社の倉庫見学や海外の倉庫見学などを通して情報交換できるネットワークが出来ました。

お金も使いましたが、私にとって仕事を覚えるより貴重な経験をすることが出来ました。

平成4年10月に会社に帰ってこいという事が急に決まり大成倉庫への入社となりました。

入社後数年間で感じたことは、他社にはこのような荷物があ

るが当社にはどうしてないのか、なぜ取扱いが出来ないのかと聞くと許認可がいるんだという話が多くありました。

そんなこんなで色々動いているうちに必要な許認可がもらえるとの事になりました。

約30年弱は設備の建設を行って来ましたが、それ以降は許認可等で取り扱い貨物の確保をするようになったと思います。

許認可では平成7年に食糧庁の指定倉庫になり、備蓄米の保管が始まりました。

平成9年には通関業の許可をもらい輸出入貨物の取り扱いが出来るようになりました。

その後は平成15年にトランクルーム事業を「蔵ぞう」という名前で開始するようになりました。

当初が平成15年から始まり、順調な稼働状況で増設を2度行い現在に至っています。

「蔵ぞう」もあっという間に開始から今年で21年となります。

そして2010年に社長交代となりました。

当時は会社の方針を示すのに社員心得しかありませんでした。

それでは困るので、経営理念や経営方針等書かれたものを作成しました。

最近では環境問題の認証であります、グリーン経営という認証をもらったり、AEOという税関さんからの承認を受けたりなどを行っています。

ご清聴ありがとうございました。

夜の例会 「うお清」



挟間会員の御挨拶



有吉親睦委員長の挨拶



平岩会員の乾杯



ロータリーソング

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の生業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ我等のロータリー

国際ロータリー第2720地区 大分東ロータリークラブ

創 立 昭和38年3月6日

例 会 日 木曜日・12時30分

例 会 場 トキハ会館4F「つばきの間」

会 長 前田 修二

幹 事 佐藤 純也

事 務 所 〒870-0021

大分市府内町1-2-15

(トキハ会館4F)

TEL532-0611 FAX532-8386

ホームページ <http://www.higashi-rc.com/>

メールアドレス oitahigashirc@mist.ocn.ne.jp